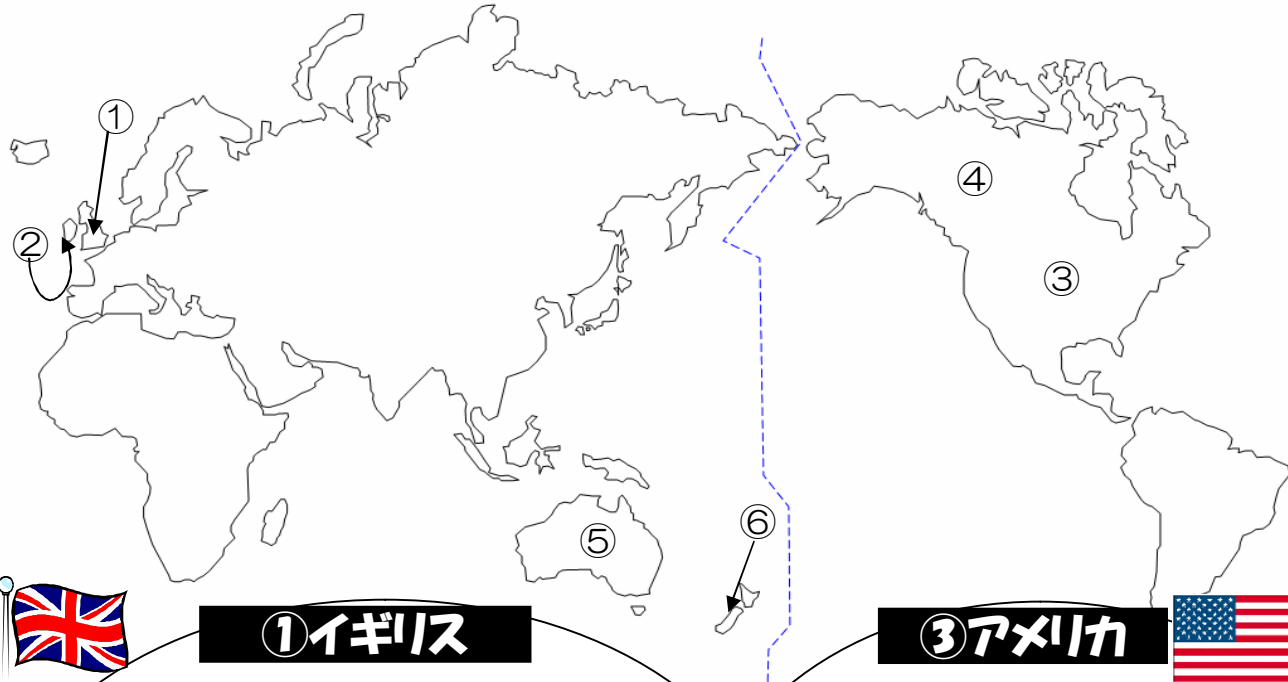


留学先（エリア）のご紹介



① イギリス

歴史・伝統・文化で知られるイギリスはイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドで構成されている連合王国。首都ロンドンには200以上の美術館・博物館があり、ミュージカルやオペラなどは世界的に有名。エンターテインメント面も豊富。物価はやや高め。北部スコットランドは豊かな自然に恵まれ、人も穏やか。冬も暖流の影響で日本の東北よりも暖かい。グレートブリテン島西に位置するウェールズはヨーロッパで最も古い言語のひとつのゲール語と英語が公用語。スクールでは標準英語が使われるので訛の心配はない。北アイルランドは、アイルランド島北東部に位置している。世界遺産のジャイアツ・コーズ・ウェイや古城など沢山あふれる見所も豊富。

- 学生層：イリア・ス・イ人がダントツ。ヨーロッパ人が中心。中東、アジア、アフリカからも
- ステイ先：殆どはホームステイ。素朴で親切なステイ先が多い。



③ アメリカ

北東部は古い歴史有、ミュージカル・映画・美術館など知的好奇心を満足させたい人向き。物価は他地域に比べて高め。西部は大自然に囲まれ、開放的な雰囲気。日系人も多い。物価は他の地域に比べてやや高め。英語を学ぶには日本人も少なく、物価も安いロッキンガム州が穴場！また南部は、通年温暖な気候でのんびりとした雰囲気のなので温かい人間関係を求める人向き。物価も安く、生活しやすく、日本人も少なめ。

- 学生層：北東部（アジア系・ヨーロッパ系）南部（南米）西部（アジア系・ヨーロッパ系）
- ステイ先：夏期は大学寮をを使うところが多い。民間寮（レジデンス）を利用できるところも。勿論ホームステイも良い！



② アイルランド

緑の平原が続く美しい風景という所以から『妖精の国』と言われている。首都ダブリンは人口約100万人の小さな都市だが、夏の観光シーズンにはヨーロッパ中から観光客がやってくる。ジョージアと呼ばれる洒落た洋館が立ち並ぶ街並みを持ち、治安もよく人々は親切な上に、生活も便利！

- 学生層：スウェーデン・イタリア・ドイツ人が殆ど。アジア系、アラブ系の留学生は少ない。
- ステイ先：アイルランドのホストファミリーはフレンドリーと定評があり、ホームステイが一般的！



④ カナダ

大自然と都市生活の両方が満喫できる。治安も良く、『世界で最も生活しやすい国』と言われ、移民が多い他民族国家だけあり、外国人に対してもオープン。日本に比べ学費を含む物価は割安。夏期はアメリカ西部の避暑地としてもメジャー。

- 学生層：南米・アジア系主体。アジア・日本・台湾の順に多い。スウェーデン、フランスからも。
- ステイ先：カナダのホストファミリーはフレンドリーと定評があり、ホームステイが一般的！



⑤ オーストラリア

原色の自然に彩られ、日本の22倍近い面積で、130以上の人種が共存する他民族国家。陽気なおおらかな国民性をもその中から生まれ、海外からの留学生を温かく受け入れてくれる。学校は都市部に集中しているが、自然環境は抜群で、趣向を凝らしたプログラムや、豊富なアクティビティが特徴！

- 学生層：インドネシア・韓国・日本と圧倒的にアジア系多数。スウェーデンからヨーロッパ留学生も。
- ステイ先：大学寮、ホームステイ、ホテルと選択の幅は広い。おおらかな国民性から心豊かなホームステイが体験できると評判。



⑥ ニュージーランド

北と南の2つの島からなり、人間よりも羊の数の多い国。ゆったりとした空気が流れ、氷河があれば火山もあり、森林や湖があるかと思えば、ビーチもあったり、多彩な自然の景観が楽しめる。都市部だけでなく、郊外や地方にも学校があるので、アウトドア派にはお勧め。

- 学生層：近隣のアジア諸国者中心。最近ではヨーロッパ人が増加傾向。
- ステイ先：ホームステイが最多。この国ならではのファミリー（農場滞在）体験が可能なのところもある。

